

最精确的解析角度 最全面的考点分析 最贴心的备考题库



国际日本语能力测试 ま 一级读解



全攻略

日本語能力测试一级 二级首选教材
重点词汇 关键句型 选项解析集于一身
加强理解 强调应用 培养应试能力

总主编◎刘建男

主 编◎刘凤荣 刘春红

主 审◎刘树仁 铃木次郎

吉林出版集团

吉林文史出版社

2008年国际日本语能力试验2级读解试题

問2文中②「差別化」指的是什么？

正确答案3: 创造出与其他企业不同的产品。

关键句: 他の企業に負けないで自分たちのつくった商品を買ってもらうためには、他とちがうこと、いわゆる差別化をしなければ。企业, 让消费者买自己生产的产品, 那么, 就必须找到与其他企业的差别化。

分析: 只要找到关键句子, 于其他企业这件事; 选项2轻视其他企业中伤他们; 选项4不



最精确的解析角度 最全面的考点分析 最贴心的备考题库

国际日本语能力测试 二级读解 全攻略



总主编◎刘建男
主 编◎刘凤荣 刘春红
主 审◎刘树仁 铃木次郎
参 编◎李 恒 王笛笙
王丽莉 刘建男
徐丽丽 栗 霞

吉林出版集团
吉林文史出版社

图书在版编目(CIP)数据

国际日本语能力测试二级读解全攻略/刘凤荣,刘春红主编.

—长春:吉林文史出版社,2009.4

ISBN 978-7-80626-463-8

I. 国... II. ①刘... ②刘... III. 日语-阅读教学-水平考试-解题 IV. H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 052323 号

国际日本语能力测试二级读解全攻略

Guoji Ribenyu Nengli Ceshi Erji Dujie Quangonglüe

总主编/刘建男

主编/刘凤荣 刘春红

主审/刘树仁 铃木次郎

责任编辑/耿宏

封面设计/柳甬泽

出版发行/吉林出版集团 吉林文史出版社

地址/长春市人民大街 4646 号

网址/www.jlws.com.cn

印刷/吉林省恒远有限公司

开本/787mm×1092mm 16 开

字数/150 千字

印张/7.75

版次/2009 年 4 月第 1 版 2009 年 4 月第 1 次印刷

书号/ISBN 978-7-80626-463-8

定价/14.00 元

前 言

由日本国际交流基金、日本语教育协会在全世界范围内举办的日语能力测试在我国已实施多年，每年有几十万人参加考试，规模大，影响深，尤其一级、二级的合格证书已成为升学、求职、留学等重要场合不可缺少的通关钥匙。

近年来，编者在从事日语教学过程中，深切感受到学生复习不得要领。一些学生为准备能力测试盲目地做习题，根本达不到补充知识，提高日语能力的目的。为了满足广大日语学习者的需要，由长春市各高校一线日语教师共同编写了这套《国际日本语能力测试全攻略》丛书，全套书共分八册，一级四册，各级分为文字·词汇、听解、文法、读解四部分。每册内容由2006年—2008年的日语能力测试真题和1991年—2005年的精选考题两部分构成。

与同类书相比，本套书最大的特点是突破了以往的真题、习题集附答案的简单做法，针对性强，深入浅出，使用方便。文字·词汇分册将汉字的音读、训读分别列出，用例句来辨析近义词。听力分册加上了关键语句的分析、生词解说和各级的词汇。文法分册对各选项所涉及的文法和语法知识结合例句给出详实的解说。读解分册分为重点词汇、读解重点、答案解析三部分，将文章中难懂词汇和文法一一说明。

本丛书既可作为一级、二级考生的自学复习用书，也可作为教师的考前辅导用书，还可作为词汇、文法的参考书。如果熟练地掌握了本套书的内容，便可充满自信地迎接考试，取得合格证书。

本套书的编写与审校得到了吉林大学外国语学院日语系教授、硕士研究生导师刘树仁老师和日本友人的悉心指导，谨借此机会表示由衷的感谢。

由于时间仓促，水平有限，书中难免有疏漏及不足之处，诚请日语界前辈、各位同仁及广大读者批评指正。

编著者

2009年2月于长春

■ 目录 ■

2008年国際日本語能力試験2級読解試験 / 1
2008年国際日本語能力試験2級読解答案解析 / 13
2007年国際日本語能力試験2級読解試験 / 23
2007年国際日本語能力試験2級読解答案解析 / 34
2006年国際日本語能力試験2級読解試験 / 43
2006年国際日本語能力試験2級読解答案解析 / 54
第一回模擬テスト2級読解試験 / 63
第一回模擬テスト2級読解答案解析 / 74
第二回模擬テスト2級読解試験 / 82
第二回模擬テスト2級読解答案解析 / 90
第三回模擬テスト2級読解試験 / 97
第三回模擬テスト2級読解答案解析 / 107
参考答案 / 115
参考文献 / 119

2008年国際日本語能力試験2級読解試験

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1. 2. 3. 4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

日本は、1950年代後半から経済の成長がいちじるしく、供給がどんどん増加し、国民一人当たりの所得も上がってきました。この時期を境にして、需要と供給のバランスが逆転しました。現在の日本は完全に供給が過剰、需要が不足している時代です。

物をつくる企業はこういうときにどうするのでしょうか。何とか買ってもらって、利益を生み出さねばなりません。他の企業に負けないで自分たちのつくった商品を買ってもらうためには、他とちがうこと、いわゆる差別化をしなければいけません。

(③) 宣伝が必要になります。新聞の折り込み広告、ダイレクトメール、テレビといったメディアから毎日送られてくるコマーシャルを見るとわかります。コマーシャルを熱心にする商品ほど消費者の取り合いがはげしい商品といってよいでしょう。

供給過剰状態を解消するには、需要をつくり出せばよいわけです。ふつうの状態では、消費者が100のものを消費するところを、いろいろな工夫によって120とか150とか、場合によっては、200も300も消費者が使うように仕向けます。あるいは、10年間使えるものを、2年、3年で新しいものに買い替えたいと思うようにもってゆきます。

こうして消費者が買った商品がいずれごみになるわけですから、ものを作ること、売ること、そして買うこと、使うことはごみを出すことになります。供給過剰を解消しようとする経済活動がそのままごみを増やす行為になっているわけです。

しかし、それだけではありません。商品を買うと、いっしょについてくるものがあります。包み紙や入れ物です。デザイン、形や色を工夫して、それ自体で消費者の目をひくようにされています。商品の中身でなく、外見でちがいを生み出そうとする生産者の努力がごみを増加させているのです。供給に対して、需要を増やそうとして実際それに成功しているのは(⑥)です。ごみを増やす主導権をとっている

のは(⑦)ではなく(⑧)といえるでしょう。

(「新版ごみから地球を考える」による)

(注1) いちじるしく:非常に大きく

(注2) 所得^{しよとく}:収入

(注3) 逆転^{ぎやくてん}:反対になること

(注4) 折り込み^{おりこ}広告:新聞などにはさまれている広告

(注5) ダイレクトメール:郵便など直接届く広告

(注5) メディア:伝える手段、方法

(注7) コマーシャル:テレビやラジオなどの放送を使って行う広告

(注8) 解消^{かいしょう}する:なくす

(注9) 仕向^{しむ}ける:そのようにさせる

(注10) 行^{こう}い:行い、行動

(注11) デザイン:ここでは、模様や字の形、がらなど

(注12) 主^{しゅ}導^{どう}権^{けん}をとる:中心になってものごとを動かす。

問1 ①「こういうとき」とはどういうときか。

- 1 生産が多すぎて、消費が少ないとき
- 2 生産が少なすぎて、消費が多いとき
- 3 生産も消費也多すぎるとき
- 4 生産も消費も少なすぎるとき

問2 ②「差別化」とあるが、どういうことか。

- 1 他の企業^{きぎょう}に負けないようにすること
- 2 他の企業の商品を軽く見て悪口を言うこと
- 3 他の企業の商品との違いを出すこと
- 4 他の企業の商品を買わないこと

問3 (③)に入る最も適当な言葉はどれか。

- 1 しかし
- 2 さて
- 3 なぜなら
- 4 そこで

問4 「わかります」とあるが、何がわかるのか。

- 1 他の企業の商品に勝つことには、宣伝せんでんが必要であること
- 2 メディアから毎日コマーシャルが送られてくること
- 3 企業は利益りえきを生み出さなければならないこと
- 4 日本は需要じゅようと供給のバランスが逆転ぎゃくてんしていること

問5 ⑤「供給過剰かじょうを解消しようとする」のは、どれかか。

- 1 消費者
- 2 企業きぎょう
- 3 コマーシャル
- 4 メディア

問6 (⑥)、(⑦)、(⑧)に入る言葉として、最も適当なものはどれか。

- 1 ⑥ 企業 ⑦ 生産者 ⑧ 消費者
- 2 ⑥ 生産者 ⑦ 企業 ⑧ 消費者
- 3 ⑥ 消費者 ⑦ 消費者 ⑧ 生産者
- 4 ⑥ 生産者 ⑦ 消費者 ⑧ 生産者

問7 筆者は、どのような行為こういがごみを増やすと考えているか。

- 1 消費者がものを長く使う行為
- 2 企業が供給を作り出す行為
- 3 企業が需要じゅようを作り出す行為
- 4 消費者が供給を工夫する行為

問題Ⅱ 次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1. 2. 3. 4から一つ選びなさい。

(1)

ろっぽんぎ
六本木を歩いていた。仮のことだった。

(注1)

わたしは、デートをしていたのだった。お食事をしたあと、私はブラブラと人通りの多い道(注2)を歩いていた。そんな六本木も、一寸ちよつとした裏通りに入ると、急に人が少なくな(注3)って静かになる。そのとき、私は、道路に置いてあるポリバケツ(注4)に、頭をつっ込んでいる小さいペンギンを見た。

「あら、ペンギン」

(注5)

私は、それまで、多少、静かな調子で話していたのに、びっくりしたので、思わず叫んでしまった。

「なんて珍しいの？六本木にペンギンがいて、ポリバケツをのぞいているなんて！」一緒に歩いていた男の人は、私をチラリと見ると、静かに、こういった。

「あれは、確かにペンギンに見えます。でも、こんな六本木の交差点の近くに、ペンギンがいると思いますか？」

そうわれて、よく見ると、それは、全くペンギンと同じ色わけの、猫だった。私たちの話し声を聞いて、ペンギンが頭をあげたら、耳やヒゲが見えたので、私にも、それは、ペンギンじゃないと、わかったのだった。がっかりしている私に、デイトの相手の人は、いった。

「驚くときは、やっぱり、よく見てから驚くようにしたほうがいいね。人さわがせになるからね」

いま考えれば、それは親切な忠告だった。

でも、私は（だって、ペンギンとしか見えなかったんだもん！）と、気を悪くしていた。だから、私は反撥して、こういった。

「じゃ、こういえば良かったの？“あら、あそこのポリバケツに頭をつこんでいるものは、まるでペンギンのように見えますが、この辺にペンギンがいるはずがないんだから、よく見てみましょう。見たら猫ですけど、ペンギンと同じの、黒と白の色わけの猫なんで、わあ、おどろいた！って？」

その人とは、そのままになってしまった。

（黒柳徹子「ヒットの欠落帖」による）

(注1)六本木:東京にあるにぎやかな街

(注2)デイト:デート

(注3)ブラブラと:特に目的もなくのんびりと

(注4)ポリバケツ:プラスチックのバケツ

(注5)ペンギン:南極などにいる、黒と白の飛べない鳥

(注6)チラリと見る:ちょっと見る

(注7)忠告:ここでは、注意

(注8)反撥して(普通は「反発して」と書く):おとなしく従わないで反抗して

問1 ①「がっかりしてる」とあるが、どうしてそう感じたのか。

1 ペンギンではないとわかったから

- 2 デートをしている男性に言われたから
- 3 男性を驚かせてしまったから
- 4 猫をペンギンと言ってしまったから

問2 ②「いま考えれば、それは親切な忠告だった」とあるが、何が「親切」だったと思うのか。

- 1 男性がペンギンではなく猫だと教えてくれようとしたこと
- 2 男性は私の欠点をなおしてくれようとしたこと
- 3 男性が私にわかるようにやさしく言ってくれたこと
- 4 男性がていねいに礼儀正しく言ってくれたこと

問3 ③「私は反撥して」とあるが、何に対して反撥したのか。

- 1 男性の間違い
- 2 男性の言葉
- 3 自分の間違い
- 4 自分の言葉

問4 ④「そのままになってしまった」とは、どういうことか。

- 1 その男性に反撥しなくなった。
- 2 その男性から忠告をされることがなくなった。
- 3 その男性とペンギンの話はしなくなった。
- 4 その男性とはもう会わなくなった。

(2)

17歳の高校生です。人間関係のことについて相談します。

私は嫌われているのではないかと思うと、そう思っていそうな相手から何とかして好かれないと考えてしまいます。男性にも女性にも、大して自分が関心をもっていない人に対しても、そう思うのです。

このため、その相手ともっとコミュニケーションをとろうとしてしつこくなってしまうたり、思ってもいないことを言ったりしてしまいます。

いつも同じことを繰り返しては、その度に後悔し、最近では考え込むことが多くなりました。

性格は明るく、友達も多い方ですが、中学校時代に友人に少し仲間はずれにされたことがあり、それでずっと悩んできました。みんなに好まれようとするのは、そ

のせいかもしれません。

こんな「マイナス思考^(注2)」の考え方を考えるにはどうすればいいのでしょうか。

(東京 A子)

(藤原正彦「藤原正彦の人生案内」による)

(注1)後悔する:悔やむ

(注2)マイナス思考^{しこう}:悪い方へ考えること

問1 ①「そう思っていそうな相手」とはどう思っていそうな人か。

- 1 私を嫌^{きら}っていない。
- 2 私が嫌^{きら}っていない。
- 3 私を嫌^{きら}っている。
- 4 私が嫌^{きら}っている。

問2 ②「そう思う」とはどう思うのか。

- 1 相手に好^{この}まれたい。
- 2 相手を好^{この}きになりたい。
- 3 相手に関心^{かんしん}を持ちたい
- 4 相手にしつこく^{しつこく}したい。

問3 筆者はなぜ③「しつこくなってしまうたり、思ってもいないことを言ったりして」しまうのか。

- 1 自分が性格が明るく、友達も多い方だと思っているから
- 2 同じことを繰り返しては後悔^{こうかい}し、考え込んでしまうから
- 3 何とかして好^{この}まれたいと思って、もっと話をしようとするから
- 4 人間関係について、だれかに相談しようと思っているから

問4 筆者が④「そのせい」と考えていることはどのようなことか。

- 1 性格が明るく、友達も多い方ということ
- 2 関心をもっていない人から好^{この}まれようとする
- 3 もっと話をしようとして、しつこくなってしまうこと
- 4 仲間はずれにされたことをずっと悩んできたこと

(3)

やりたい仕事を見つける方法は簡単です。自分がやっている仕事を一生懸命^{いっしょうけんめい}やる^①、それでよいのです。そうすればまず、それがやりたい仕事なのか、やりたくない仕事なのかわかります。

もしやりたくないと判断しても、すぐに辞めるのは禁物^{きんもつ}^(注1)です。一生懸命^{いっしょうけんめい}やっているうちに成果^{せいこ}^(注2)が出てくれば、それがやりたい仕事に変わってくるからです。やりたくない、面白くないと思っても、最低^②3年は続けてください。その積み重ねが「天職^{てんしよく}」^(注3)に結びつくのです。

それだけやっても、どうしても面白さを見い^み出せないこともあるかもしれません。しかしその場合、その仕事に関連した技術^(注4)は身につきます。知識も身につきます。ただし、いい加減^{かげん}^(注5)にやっていたら、何も身につけません。ましてやすぐ辞めた^(注6)

ら、得るものなど一つもないままに終わってしまいます。

(「すぐに使える 哲学 恋愛 仕事から生と死の問題までスッキリ解決!」による)

(注1)禁物^{きんもつ}: してはいけないこと

(注2)成果^{せいこ}: 得られたよい結果

(注3)天職^{てんしよく}: その人に最も合った職業

(注4)見い出す: 見つける

(注5)いい加減^{かげん}: 深く考えず無責任に

(注6)ましてや: さらにいえば

問1 ①「やりたい仕事を見つける方法」について、筆者はどう述べているか。

- 1 3年続けて大きな成果^{せいこ}が出れば、それが「天職^{てんしよく}」だとはっきりする。
- 2 目の前の仕事を一生懸命^{いっしょうけんめい}にすれば、それがやりたい仕事かどうかわかる。
- 3 やりたくない仕事を辞めれば、本当にやりたい仕事が見えてくる。
- 4 その仕事の知識が身につけば、やりたい仕事になっていると感じられる。

問2 どうして筆者は、仕事を②「最低3年は続けてください」と言っているのか。

- 1 3年働かなければ、一生懸命^{いっしょうけんめい}にその仕事をしたとは言えないから。
- 2 成果が出てきてやりたい仕事になるのに、3年にかかるから。
- 3 3年の積み重ねがなければ、やりたい仕事ではないから。
- 4 仕事というものは、最低3年はしなければならないから。

問3 面白さを見い出せなかった仕事でも、どんないいことがあると筆者は言っているか。

- 1 その仕事に関係した技術や知識が身につく。
- 2 これが「天職」^{てんしよく}だという判断が得られる。
- 3 仕事をいい加減^{かげん}にはしていないことがわかる
- 4 続けなくてよかったという気持ちになれる。

問題Ⅲ 次の(1)から(4)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1. 2. 3. 4から一つ選びなさい。

(1)

さて、ここであなたに質問です。1時間の話しと3分間の話では、どちらが難しいでしょう。このような質問をすると、ほとんどの人がH時間と答えます。

しかし、これはまったく逆です。実は短い話ほど難しいのです。^{かり}仮に1時間、話を^(注)するのに1日の準備が必要だとすれば、3分の話であれば、1週間から10日は準備の時間が必要だ、と言われるくらいです。

なぜなら、長い話は時間に余裕^{よゆう}がありますから、多少横道^{よこみち}にそれたり、ユー、アノーなどという言葉癖^{ことばくせ}が出て、内容がよければカバーすることができます。

(金井英之『人前で3分、あがらずに話せる本』による)

(注)仮に:もしも

問い なぜ短い話ほど難しいのか。

- 1 短い話は、短ければ短いほど横道^{よこみち}にそれやすいから。
- 2 短い話は、内容がよくても言葉癖^{ことばくせ}をカバーできないから。
- 3 短い話は、話す時間^{よゆう}に余裕がなく上手に作るのが大変だから。
- 4 短い話は、準備の時間があまりとないので急いで考えるから。

(2)

メディアや大人たちは、みんなに夢を持たせようとする。そうになると、夢を語れない人は肩身^{(注1) かたみ}が狭くなっていく。でも、僕はそういう空気はあまり好きではない。

どうしてみんな、「夢を持て」と言うのか。冷静^(注2)にしてくれるメッセージがあまりに少ない。

僕が小学校の頃^{ころ}に読んだ本で印象的な内容のものがあつた。「将来プロ野球の選手になりたい」という子供の疑問に対して、著者が冷静に答えているのである。

「たしかに夢を持つのはいいけれど、プロ野球選手になれるのは同年代で100人もいないし、そのうち毎試合出ている人は10人から20人くらい。100万人の中で野球のうまい上位20人になれるか？」

(注4)

(山本直人『20代会社員の疑問 いま、働くこと』による)

(注1) メディア:新聞、テレビ、雑誌など

(注2) 肩身が狭い:恥ずかしくて、その場にいつらい

(注3) メッセージ:呼びかけ

(注4) 上位20人: 1位から20位までの20人

問い 筆者が読んだ本の内容に合っているものはどれか。

- 1 夢さえ持てば、だれでもプロ野球選手になれることを理解してほしい。
- 2 プロ野球選手程度の夢では、あまりに小さすぎるのではないか。
- 3 冷静になることによって、夢を持つのはよくないと気づくべきだ。
- 4 大きな夢を持つあまり、現実的な判断できなくなっているはいけない。

(3)

サービスというのは本来、相手を喜ばせるためのものである。しかし同時に、こちらにも喜びが生まれてこなければいけない。相手が喜べば、こちらでも人間の自然な感情として嬉しくなる。この喜び喜ばれる中にこそ真のサービスがある。「この間お届けした商品はいかがですか」と問うた時、とても便利で助かっています。いい品物をありがとう」お客さまが答えてくれる。この言葉に無上の喜びを感じた時、初めて真のサービスができたと言えるだろう。

(江口克彦『〔新装版〕部下の哲学 成功するビジネスマン20の要諦』による)

(注1) 真の: 本当の

(注2) 問うた: 質問した、たずねた

(注3) 無上の: これ以上ない

問い 筆者は「真のサービス」とはどのようなものと考えているか。

- 1 お客さまに、「ありがとう」の言葉を言わせることができるもの。
- 2 相手にも喜んでもらい、それを自分の喜びとして受け取れるもの。

- 3 サービスを受けた相手が、無上の喜びを感じてくれるようなもの。
- 4 届けた商品が相手の役に立っていると、はっきり感じ取れるもの。

(4)

見るからに勉強している、練習している受験生やスポーツ部員に比べ、それほど勉強しているように見えない、あるいは練習しているように見えない受験生やスポーツ部員のほうが、より高度な試験に受かったり、活躍したりする。

なぜ、そうなるのだろう。前者は勉強や練習を特別なことと位置づけているのではないか。後者は当たり前のこととして、日常生活の一環として取り組んでいるのではないか。日常、肩に力を入れている人はあまり活躍できない。

(国友隆一『帝国ホテル 王道のサービス』による)

(注)一環：一部

問い 作者によると、高度な試験に受かったり活躍したりする人はどんな人か。

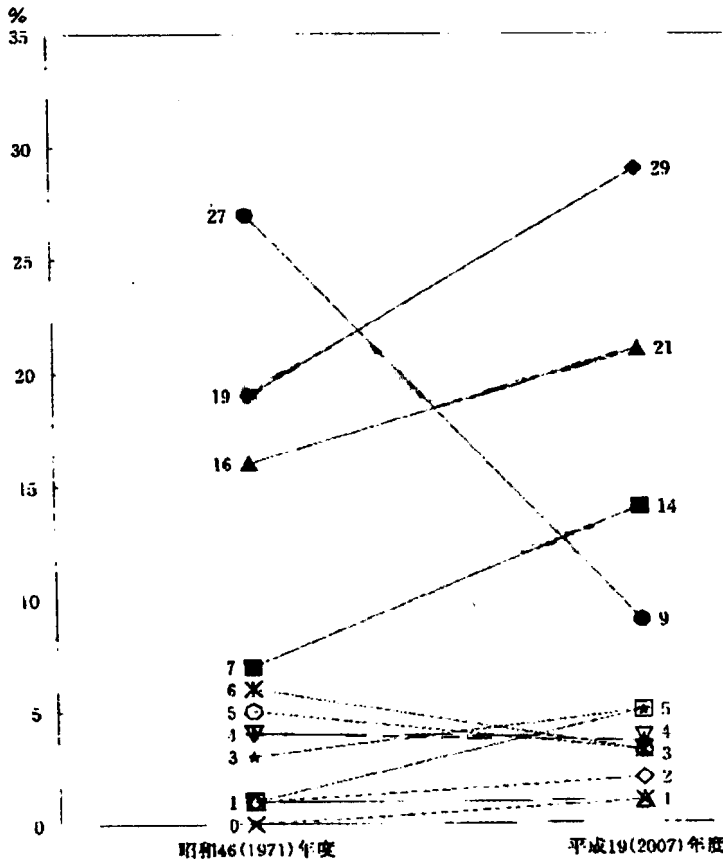
- 1 常に全力で努力し、勉強や練習に必死になって取り組んでいる人。
- 2 高度な試験に合格するように、特別な勉強を日常的に取り入れている人。
- 3 勉強や練習を特別なこととは考えず、日常生活の中で普通に行っている人。
- 4 はかの人から見ても、がんばっていると判断されるような生活を送っている人。

(5)

下のグラフは、1971年度と2007年度に行われた調査での「会社を選ぶときどんなことを最も重視したか」という質問に対する新入社員の考えをまとめたものである。

(会社の将来を考え	自分の能力、個性が生かせるから
仕事がおもしろいから	技術が覚えられる
実力主義の会社だから	どこも行くところがなくやむなく
供給が高いから	地理的条件が良いから
一流会社だから	経営者に魅力を感じたから
寮グラウンドなど福利厚生が充実しているから	
先輩が多いから	
労働時間が短く、休日が多いから	

- ★ 一流会社だから
 ◇ グランドなど福利厚生が充実しているから
 × 労働時間が短く、休日が多いから
 □ 経営者に魅力を感じたから
 ▲ 先輩が多いから



(グラフは社会経済生産性本部と日本経済青年協議会「平成19年度新人社員(3,849人)の調査結果」(http://activity.jpc-sed.or.jp/detail/lrw/activity000821/attached.pdf) 2007.7)

(注1)個性:他とは違っている性質

(注2)生かせる:活用できる、うまく使える

(注3)やむなく:したくなく

(注4)グランド: 運動場

(注5)福利厚生:会社が社員と家族の生活を豊かにするために作った制度や設備など

(注6)充実:内容が豊かなこと

問い グラフの説明として最も適当なものはどれか。

- 1 この間の変化を見ると、「会社の将来を考えて」が最も大きく減少^{げんしょう}している。一方、最も増加しているのは「自分の能力、個性^{こせい}が生かせるから」である。また、次に伸びが目立っているのは「技術が覚えられるから」である。
- 2 この間の変化を見ると、「会社の将来を考えて」が最も大きく減少している。一方最も増加しているのは「技術が覚えられるから」である。また、次に伸びが目立っているのは「自分の能力、個性が生かせるから」である。
- 3 この間の変化を見ると、「会社の将来を考えて」が3分の1に減少している。一方「自分の能力、個性が生かせるから」は最も大きく増加している。また、次に伸びが目立っているのは「仕事がおもしろいから」である。
- 4 この間の変化を見ると、「会社の将来を考えて」が3分の1に減少している。一方「自分の能力、個性が生かせるから」は最も大きく増加している。また、次に伸びが目立っているのは「一流会社だから」である。